

# 日本学術会議だより №.26

## — 共同主催国際会議閣議了解得る —

平成4年9月 日本学術会議広報委員会

平成5年度の日本学術会議の共同主催国際会議6件については、平成3年5月の第111回総会において決定されましたが、政府としても、本年6月30日の閣議において、これらの会議を日本で開催すること及び所要の措置を講ずることを了解しましたので、お知らせします。

### 平成5年度の共同主催国際会議の閣議了解

1. 日本学術会議では、昭和28年9月の国際理論物理学会議、昭和30年の国際数学会議の開催以来、平成3年度までに123件、本年度も6件の国際会議を関係の学会と共同して開催し、我が国のみならず世界の学術水準の向上に努めてきたところである。平成5年度にも、下記の6会議の共同開催を既に平成3年5月に決めているが、本年6月30日、政府全体としても、これらの会議の開催とこれについての所要の措置（会場・警備・入国手続き上の配慮・予算措置等）を講ずる旨の閣議了解を行った。

- ・アジア社会科学協議会連盟第10回総会  
平成5年9月5日から11日（川崎市・かながわサイエンスパーク）
- ・第15回国際植物科学会議  
平成5年8月23日から9月3日（横浜市・横浜国際平和会議場）
- ・第7回太平洋学術中間会議  
平成5年6月27日から7月3日（沖縄県宜野湾市・沖縄コンベンションセンター）
- ・第24回国際電波科学連合総会  
平成5年8月23日から9月3日（京都市・国立京都国際会館）
- ・第21回国際純粋・応用物理学連合総会  
平成5年9月20日から25日（奈良県奈良市・奈良県新公会堂）
- ・第6回国際気象学大気物理学協会科学会議及び第4回国際水文科学協会科学会議合同国際会議  
平成5年7月11日から23日（横浜市・横浜国際平和会議場）

〔閣議了解の内容〕  
〔各国際会議ごとに了解〕

1. （各会議名）を（共同主催学会名）と共同して平成5年度に我が国において開催すること。
  2. 関係行政機関は、上記会議の開催について所要の措置を講ずること。
2. なお、国際会議共同主催の申請から決定までのスケジュールはおおむね次のようになっている。
- ・会議開催3年前（年末まで）申請募集
  - ・会議開催2年前（2-3月頃）  
関係部会、運営審議会附置国際会議主催等検討委員会でのヒアリング等

- （3-4月頃）  
運営審議会での決定、総会への報告
- ・会議開催1年前（6-7月頃）  
閣議了解（政府としての共同主催正式決定）  
共同主催学会との合意書締結、組織委員会の発足  
現在本年年末締切りの平成7年度共同開催会議の募集を広報しているところである。（詳細は、日本学術会議月報をご覧ください。）

### 日本学術会議主催公開講演会

本会議では、毎年公開講演会を開催しています。この講演会は会員が講師となり、一つのテーマを学際的に展開しています。この秋には二つの講演会の開催が決まりましたので、お知らせします。多数の方々のご来場をお願いします。入場は無料です。

- I. 公開講演会「20世紀の意味と21世紀への展望」  
日時 平成4年10月5日（月）13:30-16:30  
会場 日本学術会議講堂  
演題・演者  
「国際政治の観点から—「長い平和」は持続可能か」  
永井陽之助 第2部会員  
（青山学院大学教授）  
「文明論的観点から」 弓削達 第1部会員  
（フェリス学院大学学長）  
「科学・技術の観点から」 伊達宗行 第4部会員  
（大阪大学理学部長）
- II. 公開講演会「医学からみた日本の将来」  
日時 平成4年11月28日（土）13:30-16:30  
会場 金沢市文化ホール 大集会室  
金沢市高岡町15-1 TEL 0762-23-1221  
演題・演者  
「子どもたち」 馬場一雄 第7部会員  
（日本大学名誉教授）  
「成人病」 五島雄一郎 第7部会員  
（東海大学教授）  
「医療技術の開発」 渥美和彦 第7部会員  
（東京大学名誉教授）  
「食物と栄養」 内藤博 第6部会員  
（共立女子大学教授）  
「医療制度の将来」 下山瑛二 第2部会員  
（大東文化大学教授）

御意見・お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。  
〒106 東京都港区六本木7-22-34  
日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291